

組織名	公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構
-----	--------------------

## 1 組織概要

所在地	兵庫県尼崎市昭和通2-6-68 尼崎市中小企業センター内
TEL	06-6488-9565
FAX	06-6488-9549
URL	<a href="https://www.ama-in.or.jp/">https://www.ama-in.or.jp/</a>
e-mail	—
設立	2003年4月1日
設置都市等	兵庫県尼崎市
代表者	渡邊憲治(理事長)

## 2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	<p>○1981年5月:財団法人尼崎市産業振興協会 設立</p> <p>○1982年10月:尼崎市中小企業センター 竣工</p> <p>○1986年4月:財団法人あまがさき未来協会 設立</p> <p>○2003年4月:財団法人尼崎市産業振興協会と財団法人あまがさき未来協会が統合し、財団法人尼崎地域・産業活性化機構となる。</p> <p>○2012年4月:公益財団法人尼崎地域産業活性化機構となる。</p>
見直しの動向	—
役割(2025年時点)	<p>○市が抱える都市問題の解決に向けた調査研究等を行うとともに、市のまちづくりの根幹である産業の振興及び中小企業等の勤労者の福祉向上に向けた各種事業を推進し、もって地域及び産業の活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>○この目的を達成するために、主に以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市問題の解決に向けた調査研究</li> <li>・産業振興事業</li> <li>・尼崎市の産業におけるイノベーション創出へ向けた支援事業</li> <li>・尼崎市中小企業センターの管理運営</li> <li>・尼崎市中小企業勤労者福祉共済事業</li> <li>・その他この法人の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	自治体の内部組織
	常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む)
	<input type="radio"/> 公益法人(財団法人・社団法人)
	大学の附置機関
	広域連合
	その他(具体的に: )
常勤職員数	22 人
うち常勤研究員数	1 人
非常勤研究員数	0 人
専門性確保に関する特徴 (複数選択可)	<input type="radio"/> 専門的な知識を有した研究員の採用
	<input type="radio"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く)
	<input type="radio"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施
	<input type="radio"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施
	<input type="radio"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施
	その他(具体的に: )
	特に行っていない
庶務体制	組織内に専従者がいる。
市民参加、外部連携	接地自治体と連携して調査研究を行っている。

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2025年度予算	3,329 千円	
2024年度決算	2,451 千円	
2023年度決算	5,528 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	事業収入
	2位	補助金等収入
	3位	寄付金収入
	4位	負担金収入
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

### 3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	—
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 外部有識者等からの助言・示唆 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択
	<input type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 その他(具体的に: )
	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 報告会を実施する <input type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する その他(具体的に: ) 特に行っていない
	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている 外部有識者から評価を受けている
	<input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている その他(具体的に: ) 特にそういう機会はない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	

### 4 特記事項

研究員の業務分担	プロジェクトごとに主・副担当者を配置するが、研究員全員が関わる体制をとっている。
研究員の専門性育成の手立て	顧問(兵庫県立大学名誉教授)による研究指導、近隣の大学の教員による助言、研究会・セミナーへの参加等。
研究員のキャリアパス等	i)他市のシンクタンク→当財団→大学教員 ii)大学研究員(非常勤)→当財団→大学教員 研究員の採用にはJREC-INや関連学会を通じて公募する。
その他	—